

担当 エリア	B	役宅 2	名称	No 7	上段の間
エリア 全体の 概要や 特徴等	<p>上段の間は位の高い人が笹川邸を訪れた時に泊まるためだけでなく、休憩するためもある部屋でこの部屋は暖かいときには使われていたけど、寒い日には部屋が冷えて使われなかったそうです。</p>				
細部の 解説			<p>上段の間には銀閣寺に使われている書院造の部屋で違い棚があります。</p>		
			<p>笹川邸には打たれた釘を隠すために使われている釘隠しがあります。 笹川邸には6種類ありそれぞれ名前があります。この上段の間の釘隠しの名前は鶴が2羽いるので2羽鶴といひます。</p>		
			<p>上段の間にはおもしろい部分もあります。この棚の下にある空間はちんくぐりといい、犬を通らせるためにある穴です。</p>		
			<p>畳のへりは踏んではいけないという習慣があり位の高い人にへりを踏ませないために他の部屋と比べ畳の長さが長くなっています。</p>		